

第4節 地産地消プロジェクト

森林・農業地域と市街地のお互いの良さを活かした連携を図り、農林業の活性化・振興を図っています。また地産地消の仕組みをよみがえらせ、生産者と消費者の顔が見える関係を目指します。

指標	評価	平成22年度	平成23年度	目標値 (平成33年度)	担当課
人工林における間伐の施業面積 (ha)	C	105	103.65	200	農林課
平成23年度の主な事業 優良な木材を生産するとともに、雇用の確保を図るため、木々の密度を調整する間伐事業を実施しました。また、山林作業の効率化を図るため、ミニ作業道を整備しました。(L=350m)					
市民ふれあい交流事業(ミニ直売所)(箇所)	C	6	4	10	農林課
平成23年度の主な事業 地域自治会と東部地域の生産者団体が協力してミニ直売所を4箇所設置しました。また、市役所本庁舎前で12の生産者団体の参加により「彩マーケット」を開催し、生産者と消費者のふれあい交流により地産地消を推進しました。					

指標	評価	平成21年度	平成22年度	平成23年度	目標値 (平成33年度)	担当課
奈良県産学校給食食材地産地消率 (%)	C	30.76	33.33	33.96	40	保健給食課
平成23年度の主な事業 奈良市地産地消基本計画を策定するため、外部識者に委員を委嘱し、「奈良市地産地消基本計画検討委員会」を2回開催しました。地産地消を推進する上での問題点や課題について議論を行い、新鮮、安心な農林畜産物を市民に提供できるような仕組みづくりやフードマイレージが低減される環境について検討しました。						

【実施事業】

1 月ヶ瀬、都祁地域と都市部との連携

月ヶ瀬、都祁地域と都市部とのふれあいの場として、月ヶ瀬では地域団体が茶摘み体験、こんにゃく作り体験、餅つき大会などを行っており、都祁では都祁まちづくり協議会が農業体験交流事業（田植え、ブルーベリー採り、稲刈り、収穫祭）を行っています。

2 市民ふれあい交流事業

地場産の新鮮で安心・安全な農産物の消費を促進するとともに、生産者と消費者のふれあい交流を推進するため、平成23年度は、鳥見、富雄、赤膚及び白毫寺の4箇所においてミニ直売所を実施しました。



3 学校における地場産農産物の利用

食育の観点から、子どもたちに生産者に対する感謝と食の大切さを学んでもらうとともに、地場産農産物の地域での消費を促進するため、学校給食への奈良県産食材利用を推進しています。平成23年度の奈良県産学校給食食材地産地消率は、33.96%となり、徐々に増加していますが、東日本大震災以降、地元産食材の需要が増加する中、まとまった量の確保がさらに困難な状況となっています。